

屋久島トレッキング

旭川市医師会
北彩都病院

海老澤良昭

1993年12月に世界遺産に登録された屋久島ですが、本年7月に念願の屋久島トレッキングに行くことができました。天候に非常に恵まれ、雨に打たれることもなく、屋久島を十分に満喫してきました。

初日は鹿児島空港を経由し屋久島空港に到着。空港近くでレンタカーを借り、近くのレストランで昼食を取り、その後屋久杉自然館に行き屋久島の歴史と杉についての勉強をしました。それから時計回りで約130kmの島内一周をしました。千尋滝や大川の滝がダイナミックで素晴らしかったです。そして約7kmの西部林道に到達。獣道のように狭く曲がりくねっており、慎重な運転を迫られました。またその道の途中では野生の猿（屋久ザル）の親子が道路のど真ん中で毛繕いをしていたのですが、全くどける素振りを見せないの、慎重に避けながら車を進ませました。島一周に約4時間弱かかりました。

島を一周した後に、宿泊先の民宿やくすぎ荘に到着。晩御飯に出されたトビウオのから揚げや刺身がめちゃくちゃ美味しかったです。その後、シャワーを浴びて就寝(爆睡?)。

二日目は縄文杉ツアーを予約していたので、朝3時に起床。外はまだ真っ暗でした。トレッキングの準備をして朝食・昼食を受け取り、朝4時にガイドの車で宿を出発しました。途中でわれわれ以外に4人のツアー客をピックアップし、朝5時頃に屋久杉自然館の駐車場に到着(一般の車両はここまでしか入れず)。そこには早朝であるにもかかわらず縄文杉へのツアー客があふれていました。多い時では1日600人以上の人が縄文杉に向かうそうです。そこで入山協力費を1,000円支払い、荒川登山口までの往復バス券を購入。何台目かのバスに乗車し、約30分かけて荒川登山口に到着。軽く準備体操をした後に、午前6時半からトレッキングを開始しました。トロッコ道をひたすら歩き、途中モウセンゴケや旧

小学校跡地を経由しながら楠川分れ(ここから、太鼓岩や白谷雲水峽に行くこともできる)に到着しました。さらに登り路を歩き続けウィルソン株に到着。中でハートマークの写真を撮りました。そこで小休止を取った後に大王杉を見ながら歩き続け、ようやく昼前に縄文杉にたどり着きました。縄文杉は直径5.2mでかなり大きい杉なのですが、遠巻きに見る感じで直接触ることはできません。しかししばらくの間眺めていると、その雄大さを実感することができました。片道約10kmの道のりでした。縄文杉を少し過ぎた後の休憩所で昼食を取り、縄文杉をもう一度良く観察し、来た道をひたすら歩き帰りました。帰りのトロッコ道で先頭を歩いていたガイドのつまずきが多くなったので、ガイドにどうしたのですかと聞いたところ、連日のトレッキングのガイドで疲れ、歩きながら寝ていたとのこと。往復10時間超えのトレッキングのガイドと送迎を行う、ガイドの仕事は相当にきつと感じました。しかもこのガイドは明日も同じコースをガイドすると言っていました。その日の私のスマホの万歩計は3万5千歩を超えていました。

3日目は朝レンタカーを借り、白谷雲水峽に到着。くぐり杉、七本杉、「もののけ姫」のモデルになったとされる「苔むす森」を抜け、武家杉・公家杉を通り、辻峠を経由し標高1,050mの太鼓岩に行きました。天気は快晴で、太鼓岩からの大展望は樹々から開放された景色で、その雄大さに驚嘆するばかりでした(高所恐怖症である私はあまり岩の端まではいけませんでした)。帰りは遠回りにはなるのですが奉行杉コースを回りながら午後2時過ぎに雲水峽に戻り、トレッキングが終了(万歩計で1万5千歩)しました。その後、楠川温泉で日帰り入浴をして汗を流しレンタカーを返却したのち、午後6時の飛行機で屋久島を離れました。

今回の屋久島トレッキング2日間で約5万歩歩きましたが、毎日の犬の散歩で早歩きをしていることもあり、疲れはあまり残りませんでした。今回は翁岳や宮之浦岳に行けなかったのも、また機会があったらぜひ行ってみたいと思います。レンタカー会社の職員の方によると、屋久島旅行は3月と11月が季節的に良いとのことであり、次回はその時期に出かけてみたいと思っております。

